

志賀原子力発電所 1号機の定期検査終了について

平成12年12月6日
北陸電力株式会社

志賀原子力発電所 1号機（沸騰水型、定格出力 54万キロワット）は、平成12年9月19日から第6回定期検査を実施してまいりましたが、本日15時、通商産業省による総合負荷性能検査に合格し、定期検査を終了いたしました。

以 上

1. 定期検査のための期間

平成12年9月19日から平成12年12月6日まで 79日間

- ・発電停止 : 平成12年 9月19日
- ・発電開始 : 平成12年11月12日
- ・総合負荷性能検査 : 平成12年12月 6日

2. 定期検査を実施した主な設備

下記の設備について検査を実施し、いずれも異常のないことを確認しております。

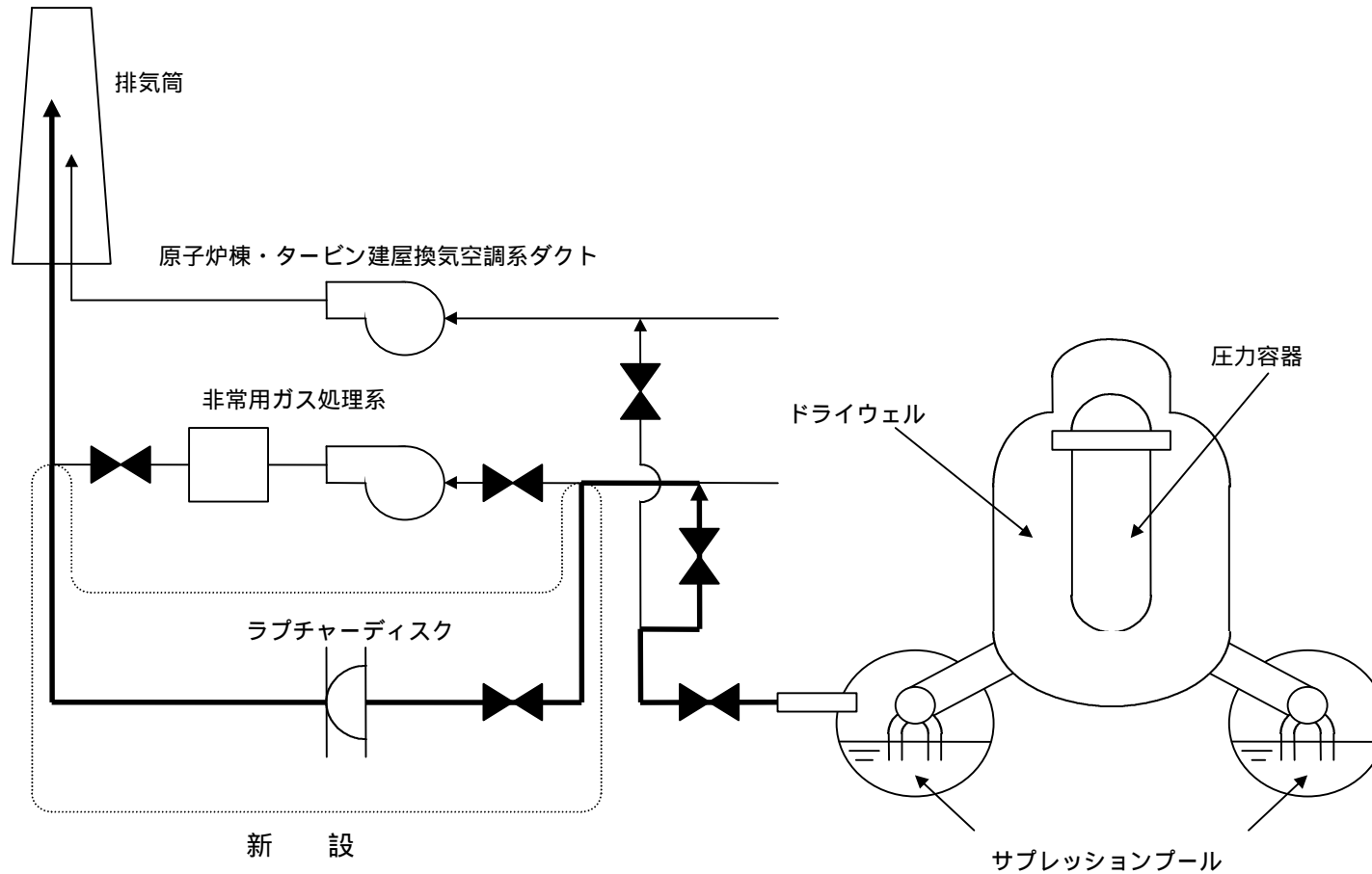
- (1) 原子炉本体 : 原子炉压力容器、炉内構造物、燃料の点検
- (2) 原子炉冷却系統設備 : 主蒸気系、給水系などの配管類、熱交換器、ポンプ、弁類の点検
- (3) 計測制御系統設備 : 冷却材圧力、流量計測装置などの計測制御系統設備の点検、校正
- (4) 燃料設備 : 燃料取扱装置の点検
- (5) 放射線管理設備 : 放射線モニタリング設備などの点検、校正
- (6) 廃棄設備 : 放射性廃棄物処理設備、貯蔵設備の点検
- (7) 原子炉格納設備 : 原子炉建屋、原子炉格納容器の気密試験
- (8) 非常用予備発電設備 : 非常用ディーゼル発電設備等の点検
- (9) 蒸気タービン : 主要弁類、補機類の点検
- (10) 電気設備 : 発電機、変圧器等の点検

3. 定期検査期間を利用して実施した主な工事等

- (1) 出力領域計測装置検出器取替
計測制御系統設備の核計測装置のうち出力領域計測装置の検出器集合体(全数20体、検出器個数80個)4体を取り替え、性能維持を図りました。
- (2) 制御棒駆動機構取替
制御棒駆動機構89体のうち分解点検を行う13体について、同一設計の予備品と取り替え、点検作業の効率化を図りました。
- (3) 燃料の一部取替
原子炉内の全燃料(368体)のうち、104体を新燃料に取り替えました。
- (4) アクシデント・マネジメント対策
格納容器内に崩壊熱が放出された場合の除熱手段として、現状の格納容器スプレイ冷却系に加え、サプレッションプールを通じ除熱を行う、耐圧性を強化したベントラインを設置しました。今回で全てのAM対策は完了しました。

アクシデント・マネジメント対策

格納容器からの除熱機能の強化



格納容器：主にドライウエルとサプレッションプールで構成。

原子炉圧力容器やその付帯設備を収納する鋼板製の気密容器であり、原子炉事故時に放射性物質が周辺環境へ放散することを防止するための格納施設